

令和7年度 放課後等デイサービス ばくの樹 自己評価表

R8 年 1 月 20 日実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			国の基準は満たしていますが、子どもの人数が多いと部屋が狭く感じます。レク大会やバリアフリーピクス等の活動では、広い場所を借りて実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国の基準を満たしていますが、その日の利用者さんの様子や実施するプログラムの内容により、国の基準では職員不足を感じる場合があります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	一般の一軒家を使用しており、段差があります。賃貸物件のため、大きな改修工事は難しいです。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			年に一度、各業務（係）の年間業務設定と振り返りを実施しています。 振り返りは3月、業務の年間計画は4月に行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様向けアンケートを実施後、パートを含めた会議の中で、その内容を確認しています。確認したご意見は検討し、改善に努めております。ただし内容（放課後学童クラブ等との交流）によっては様々なご意見がありますので実施を見送る場合もあります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価は HP にて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	進捗しておりません。未実施のままとなっています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は以下の分野の研修を実施、又は参加しました。 主な研修 エビエンの使用（動画視聴/実技研修）、てんかんについての動画研修、発達障がい児への関わり方（動画視聴/講義）、発達障がい児の学校生活（動画視聴）、AED 心肺蘇生（上尾消防）、送迎中、大地震が発生した場合の対応、感染症対策（動画視聴と実技研修）、虐待防止他
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様に対し、5 領域別のアンケートを実施し子どもや保護者様のニーズを確認しています。また、課題となる点は研修動画や様々な資料を基に客観的に分析し、当事業所で実施可能な支援を計画書に落とし込んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			今年度より「リタリコ発達ナビ」と契約し、専門的なアセスメントツール、5 療域年齢別のスキルシートを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者が提案したプログラムを、職員会議で検討しています。 個別支援計画に基づいた内容で、計画しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化することで、向上する機能もあるため、毎回実施する活動と季節に合った活動を組み合わせるようにしています。また 5 領域を踏まえたプログラム作成を心掛けています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日で取り組むプログラムと土曜日や長期休暇のプログラムは内容を変えています。 平日は短い時間で楽しめるレク活動や工作等を主に実施しています。

					土曜日は広い公園や図書館などの公共の施設利用の機会を設けています。また地元の祭り・フェスなどの行事にも参加しています。 長期休暇時は午前、午後と分け、子どもが飽きないように別のプログラムを作成しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		ばくの樹を利用される子どもたちは、「今日は何して遊ぼう」と自ら考えられる方が多いです。その願いをかなえるための個別活動、仲間との思いやりを育てる集団活動をバランス良く組み合わせています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に打ち合わせを実施しています。 その日の送迎確認、プログラムの確認、前日や前々日の利用者の様子の共有をしています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	支援後に振り返りの時間は設けていませんが、緊急性の高いものについては、その日のうちに共有しています。そうでないものに関しては翌日や会議等で気付きを話し合っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録は、支援終了後に記録を行っています。記録を基に経過表の作成を行い、次回の個別支援計画に反映させています。	
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度、モニタリング（経過表作成）を実施しています。必要に応じて、個別支援計画の目標の変更、取り下げ、具体的な支援の取り組みを変更しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		毎日複数の組み合わせをしているわけではありませんが、様々なプログラムを行う中で、複数の組み合わせになるようにしています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が、会議に参加するようにしています。また、児童発達支援管理責任者の都合がつかない時は、管理者が担当者会議に出席することもあります。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	今年度は学校の下校時刻の確認は、保護者様と行ってくださいと、学校側から要望されることが多かったです。 子どもの体調など健康面に関しては、常に情報交換させていただいております。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/			現段階では、医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		今年度は、保護者様を通じて卒園された保育園の先生と情報交換をさせていただきました。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		支援学校高等部卒業の方の進路先に、ばくの樹においての活動内容や利用年数、課題等を報告書として渡しております。（郵送にて） 今年度も卒業見込みの方がいらっしゃいますので実施いたします。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		今年度は発達障害者センターのオンライン研修「アセスメント技術を高める」に参加しました。（令和8年1月時点）	

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	アンケートでは交流を希望されない方もおり、今年度も放課後児童クラブとの交流は未実施です。 災害協定を結んでいるし放課後等デイサービスげんき広場のお子様と、災害訓練の際に交流する機会がありました。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			今年度は自立支援協議会主催の災害時研修に、管理者が参加します。(令和8年2月の予定)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			LINE 連絡帳、送迎時、面談等で保護者様に子どもの様子を伝え、共通理解が出来るようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	未実施となっています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。 不明な点がありましたら、ご連絡ください。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			LINE 連絡帳や送迎時、また面談にて行っています。電話でも受け付けております。 お気軽にご相談ください。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は、正会員様向けにバス旅行を開催させていただきました。またこちらも正会員様向けですが、クリスマス会のご家族参加、成人施設の見学会を実施しています。 令和8年3月の行事(スポーツフェス)は、どなた様でもご参加可能です。是非ご参加ください。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の対応方法は契約時に重要事項説明書にて、説明しております。 何かありましたら、苦情窓口にご相談ください。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ばくの樹だよりを発行しています。お子様のご様子は、こちらをご覧ください。 また行事予定は、月間の行事予定表、土曜日ご利用の方は土曜活動のお知らせ、夏休み期間は夏休みの行事のお知らせをご確認ください。また行事の問い合わせも常時、受け付けています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			今後も個人情報に留意していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			配慮をしているつもりでも、足りない部分があると思います。何かお気づきの点がありましたら、お知らせください。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の規模が小さいため、地域住民を招待することは難しいと感じています。	
非常時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			地震が発生した時の緊急時対応マニュアルは契約時に保護者様に配布していますが、その他のマニュアルについては、契約時に他にも様々なマニュアルを作成していると口頭で一言話すだけに留まっています。令和6年度より、ばくの樹の玄関に全てのマニュアルを入れたファイルを置きましたので、ご覧になりたい方は、面談時にお声掛けください。

対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			今年度は、火災、地震、水害、不審者対応の訓練を利用者と共に実施しました。7月、1月は災害協定を結んだ放課後等デイサービスげんき広場様と訓練を実施しました。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回、虐待及び身体拘束の研修会を実施しています。今年度は2月に実施する予定です。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は基本的にはしていませんが、緊急を要する時に行動制限をさせて頂く可能性がある方には、個別支援計画書に記載させていただきます。記載したとしても身体拘束は、本人及び相手が大きな怪我や生命の危険があるときのみと考えています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師から直接ではありませんが、保護者様から聞き取った内容で対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月1回、ヒヤリハット報告書の共有をパート職員も含めた会議内で実施しています。